

INDEX

2. 政府のイノベーション戦略
  3. 自動車イノベーション
  4. ICTイノベーション
  5. 化学イノベーション
  6. メディカルイノベーション
  7. 農林イノベーション
  8. 環境イノベーション
  9. ワーキングイノベーション
  10. グローバルイノベーション



活躍の場を広げるロボットテクノロジー（パナソニック発のVBアクティプリンクが開発した装着型ロボット）



海外でも日本の建機や農機は高い評価を得ている（コマツの林業機械は数分で稼働状況を把握し、リポートする）

# 「イノベーション」 革新的な市場創出

# 日本経済を力強く

イノベーションを加速するには、企業が自社のリソースだけで開発し、市場開拓を進めるだけでなく、外部のリソースを取り込んだり連携したりすることで、より短期間に成果を生み出すようにすることも重要だ。

米国では、大企業が中小・ベンチャーの技術を活用してイノベーションを創出する「オープンレーツ」ベンチャリングの手法を積極的に活用している。ゲーグルやアップルが位置情報技術や自動運転技術を携えて、自動車産業

に触手を伸ばすといつも見られる。日本でも大学発ベンチャーや民間企業からスケープアウトしたベンチャー企業が開発した、センサーやサービスロボット事業化で大企業が連携するなど、イノベーションを加速し、市場創造をかる動きが現れている。一方、低成長が課題となっていたサービス産業や医療、農業分野なども、企業や大学が培った先進技術を取り込むことで、強いサービス産業

強いために、医療や農業へ生まれ変わらせるといった取り組みが始まつた。

## 大胆な緩和

こうしたイノベーションの芽を育み、大きく根をはる樹木へと育てていくためには、国の役割も欠かせない。新市場の創出には、従来の枠組みを突破する大胆な規制緩和や制度改革が不可欠だ。また、地方にイノベーションの波を行き渡らせ、地方創生を実現するための国家戦略を策定し、実行する。

イノベーションを加速させ、日本経済を力強い成長へと導くためにも産官学が一体となつた取り組みが求められている。

連携



世界で存在感を高めつつある医療分野  
(オリンパスが開発した耳鼻咽喉科向け治療システム)

## 問題

70億人で省エネせよ。

電気というエネルギーを得るために、  
人はどれだけのエネルギーを費やすのだろう。

あなたは使うだけでいい。旭化成のホール素子が世界中のモーターを制御し、エネルギーをなくしてゆきます。

いま省エネルギーを考える時、センサーの果たす役割は極めて大きい。私たちの家庭では、あらゆる家電にモーターが使われているが、(CDやDVDはその一例だ) センサーの力で、そのモーターの回転位置や速度を正確に把握することができる。すると、いわば回し過ぎることなく、必要最低限の電気でモーターを動かせるようになる。ホール素子というセンサーの出現で、モーターのエネルギー効率は飛躍的に進化した。旭化成は、世界中で使われるホール素子の約70%、年間12億個以上を生産している。あなたがケータイを閉じた時、自動で画面が消えるのもホール素子の力である。誰もが使うものが進化すれば、誰もが省エネに参加できる。

電気をつくる技術はもちろんだが、電気を無駄なく使う技術も、いま、求められている。昨日まで世界になかったもの「ホール素子」。詳しくは [www.asahi-kasei.co.jp](http://www.asahi-kasei.co.jp)

---

For more information about the study, please contact Dr. [REDACTED] at [REDACTED].

昨日まで世界になかったものを。

# AsahiKASEI